



新大分土地 代表取締役

阿南 勝啓氏

- ①京都祇園のお茶屋さん
- ②大相撲観戦
- ③夢

80周年新しい始まりの予感を発信

9月で80周年を迎える。貸しビル事業を軸に、個性豊かなリノベーション物件で大分市中心市街地の魅力創出に力を発揮してきた。「不動産は人に使われて、初めて価値が生まれる。古いビルも新しい価値を生み出すことができる」と目を輝かせる。

JR大分駅ビルの開業で中心部を訪れる人が増えた一方で、空室が目立ち始めた一部の商業エリアに危機感を抱く。「今後は地域や行政と一体になった空き家対策が必要」と話す。「まちはひとでできている」を掲げ、これまで物件の立地や特性を生かしたりノベーションで人を引き寄せ、周辺エリアの新たな可能性を開拓してきた。9年前に手掛けたガレリア竹町の「wazawaza」

は築約50年のビルながら、独立して初めて店を持つ人や新たな分野に挑戦する人たちによるフードや美容関連など魅力的なテナントが進出。周辺の「竹町西口」エリアは感度の高い人たちが集まる場所になってきた。

今年、「まちを楽しくするレンタル事業」の第2弾として、同ビル内に「食」をテーマにした貸



貸しスペース「まちの台所eat」を開設

しスペース「まちの台所eat」を開設。キッチンやテーブルセツト、料理器具一式を備えており、「料理教室やパーティーはもちろん、手料理を振る舞うイベントや中心部で出店を考えている人の『実験の場』にも使えるのでは」。ビル近くには豊後大野市のアンテナショップもあり、「人と人、大分の食材や生産者と消費者、人と街をつなぐ楽しい場所になれば。われわれの想像を超えた使い方が出てきてほしいですね」と期待

を寄せる。昨年府内五番街の「名店ビル」の空室3室をDIYできる賃貸物件としてリノベーションし、新たな借主を得た。「府内町という中心部で、自分好みに仕上げた部屋に住める」という魅力ある提案がまた一つ、まちに彩りをもたらした。

「何事も新しい何かが始まりそうな時が一番おもしろい。会社も安定した評価より社名のように新しい始まりの予感を発信したい」。夢はいつも未来にある。



新大分土地株式会社
大分市中央町1-5-25新大分ビル4階
TEL (097) 534-3371
<http://www.shinoita.com>